

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

木下 亮平 (きした りょうへい) [作業療法学科 講師]

2023年

6. 調査報告書

- ・宮口英樹, 石附智奈美, 片岡聡子, 木下亮平, 岩重正一, 中西一, 坂本玲那, 中村美琴, 多田志保, 大崎利奈, 坂本伎, 宮本奈々子, 宮口幸治, 平尾文. 一般就労と福祉的視点の狭間にある者を対象とした刑務所における就労移行準備を目的としたプログラムの有効性－クロスオーバー介入研究－令和元年から令和3年報告書. 2023, 1-91

9. 学会発表

- ・木下亮平, 大浦智子, 有久勝彦, 石附智奈美, 宮口英樹. 転倒リスク予測能力の潜在的因子の抽出－Time Pressure-Kiken Yochi Training (TP-KYT) による検討－. 第57回日本作業療法学会. 沖縄. 2023年11月.
- ・大浦智子, 木下亮平, 有久勝彦, 宮口英樹. 特別養護老人ホームにおけるインシデント発生の時間・場所・要因. 第57回日本作業療法学会. 沖縄. 2023年11月.

10. 講義・講演

- ・木下亮平. 高齢者の心理的適応を促進する作業療法 (教育講演6). 第43回近畿作業療法学会. 2023年6月4日.
- ・木下亮平. 作業療法の視点から考える介護事故軽減への挑戦：作業療法士による転倒事故を防ぐリハビリの視点 (講演①). 第23年度日本介護福祉学会近畿地区公開講座. 2023年9月10日
- ・木下亮平. 地域作業療法学Ⅱ：計7コマ. 奈良学園大学. 2023年11月1日－2024年3月31日.

12. 公的活動

- ・一般社団法人日本作業療法士協会学術部委員
- ・一般社団法人日本作業療法士協会研究倫理予備審査部会委員
- ・一般社団法人日本作業療法士協会課題研究助成制度委員
- ・一般財団法人日本訪問リハビリテーション協会学術部委員
- ・保健医療学学会監事
- ・作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事
- ・第三回日本COG-TR学会学術集会 in北九州 実行委員 (2023年8月20日)

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
木下 亮平	科学研究費 基盤研究 (C)	VRを用いた医療専門職 の危険予知能力評価法 の開発	2023年～ 2026年	351	宮口英樹(広島大学大学院) 大浦智子(国立長寿医療研究 センター) 石附智奈美(広島大学大学院) 有久勝彦(関西福祉科学大学)
概要(薫英研究費・無)					
医療・福祉・介護専門職の危険予知能力を高めるために危険予知トレーニング (KYT) が各施設で導入され、教育効果を定量的に測定できるTime Pressure-Kiken Yochi Training 効果測定システム (TP-KYT) が活用され始めてきた。しかし、TP-KYTはリスク場面にイラストを使用しているため、臨床で経験する患者の動きや立体感・距離感のリアリティが不足しているという課題があった。本研究では、Virtual Reality (VR) 技術を応用したVR-KYTの開発と、VR-KYTを使用して危険を予知する方略を視線動向の観点から解明する。					

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
大浦 智子 (国立長寿 医療研究 センター)	科学研究費 基盤研究 (C)	介護事故の解明と介護 事故防止にむけた根拠 に基づく介護安全シス テムの構築	2023年～ 2026年	468	宮口英樹(広島大学大学院) 木下亮平 有久勝彦(関西福祉科学大学)
概 要(薫英研究費・無)					
<p>高齢者の意思を尊重して自立支援の理念のもとで活動する機会が増えるほど、転倒・転落などを含む危険事象が発生する可能性は高まる。ケアの個別化が求められる一方で介護人材不足が課題となっており、ケアの質の向上のためには介護安全教育は欠かせない。本研究は、個人・組織管理の観点から介護事故防止策を構築するために、高齢者介護施設におけるインシデント/アクシデントレポートの分析、時間制約下における危険予知能力とストレスとの関連を明らかにし、施設管理者らへのヒアリングをふまえ、臨床場面に即した科学的根拠のある介護事故防止システムの構築に寄与する。</p>					

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
有久 勝彦 (関西福祉 科学大学)	一般社団法人 日本COG-TR 学会	放課後等デイサービス で働く職員の危険予知 能力についての探索的 研究	2023年～ 2024年	20	宮口英樹(広島大学大学院) 石附智奈美(広島大学大学院) 大浦智子(国立長寿医療研究 センター) 木下亮平 山鹿隆義(名古屋女子大学) 松下航(国際医療福祉大学) 長谷川文(名古屋女子大学)
概 要(薫英研究費・無)					
<p>放課後等デイサービスの事故やヒヤリハットの多くは、ヒューマンエラーによって起こっている割合が多い。本研究では、放課後等デイサービスで勤務する職員の危険予知能力の実態を調査することを目的とする。調査には「社会面のコグトレ認知ソーシャルトレーニング1」内にあるKYTのイラストを使用し、職員の実務経験年数や職種間、過去の職歴などの職員特性によって記述数や記述内容、危険の程度の判定に違いがあるのかを量的・質的に分析する。</p>					

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
大浦 智子 (奈良学園 大学)	公益財団法人 三井住友海上 福祉財団 研究助成 (高齢者福祉)	介護職員のリスク認知 とストレスに焦点をあ てた介護事故防止に関 する研究：人・環境・ 管理的要因	2022年8月～ 2024年3月	110	宮口英樹(広島大学大学院) 石附智奈美(広島大学大学院) 有久勝彦(関西福祉科学大学) 木下亮平 松下航(国際医療福祉大学)
概 要(薫英研究費・無)					
<p>本研究の目的は、高齢者介護施設における事故と介護職員のストレスおよび労働環境との関連を明らかにし、事故防止にむけた個人・組織管理の観点から対策を提案することである。過去2年間のインシデント・アクシデントレポートを分析し、その要因を網羅的に探索する。そして、介護場面を想定したリスク認知検査(時間制約のある危険予測検査)と同時に唾液アマラーゼによる即時ストレス測定を実施し、加えて持続的ストレスを含む健康状態や職場内の人人体制などの環境や信頼感に関する質問紙調査から、危険予測に関連する即時・持続的ストレス、職場環境等の要因を分析する。</p>					

2022年

6. 調査報告書

- 宮口英樹, 石附智奈美, 片岡聡子, 木下亮平, 岩重正一, 大崎利奈, 多田志帆. 福岡県北九州市令和3年度SDGs達成のための次世代型教育推進事業: 認知機能に視点をおいた包括的プログラム (コグトレ) 研究報告書. 2022, 1-186

7. その他文筆活動

- 木下亮平. 高齢期の幸福・QOL評価と作業療法実践の視点～心理・社会的加齢理論の応用～. <特集> 健康と幸福を促進する作業療法. 作業療法・福岡. 2022;20:21-28

9. 学会発表

- 木下亮平, 大浦智子, 有久勝彦, 松下航, 宮口英樹. リハビリテーション専門職者におけるTime Pressure-Kiken Yochi Training (TP-KYT) の構成概念妥当性の検討. 第56回日本作業療法学会. 京都. 2022年9月.
- 松下航, 有久勝彦, 木下亮平, 石附智奈美, 宮口英樹. 作業療法士学生の臨床実習におけるCOVID-19が与える影響について－リスク予測能力に着目した3年間の縦断研究－. 第56回日本作業療法学会. 京都. 2022年9月.
- 中川友紀, 野田和恵, 井上陽介, 丹智絵子, 木下亮平. 24時間の周期回帰分析で解析した入院高齢患者における退院後の生活リズムの変化. 第56回日本作業療法学会. 京都. 2022年9月.
- Kishita R, Kunishige M, Nagaki K, Ishizuki, C, Miyaguchi, H. Relationship between stress coping ability and activity participation status among Community-dwelling older adults in Japan. 18th Congress of the World Federation of Occupational Therapists (WFOT). Paris, France. Aug. 2022

10. 講義・講演

- 木下亮平. 住み慣れた地域でいきいきと暮らす こ・と・は・じ・め ～認知症について知ろう～. 認知症の理解とサポートのポイント. 大阪人間科学大学公開講座. 大阪人間科学大学. 2022年10月.

12. 公的活動

- 一般社団法人日本作業療法士協会学術部委員
- 一般社団法人日本作業療法士協会研究倫理予備審査部会副部長
- 一般社団法人日本作業療法士協会課題研究助成制度委員
- 一般財団法人日本訪問リハビリテーション協会学術部委員
- 保健医療学学会監事
- 作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
大浦 智子 (奈良学園 大学)	公益財団法人 三井住友海上 福祉財団 研究助成 (高齢者福祉)	介護職員のリスク認知 とストレスに焦点をあ てた介護事故防止に関 する研究: 人・環境・ 管理的要因	2022年8月～ 2024年3月	110	宮口英樹(広島大学大学院) 石附智奈美(広島大学大学院) 有久勝彦(関西福祉科学大学) 木下亮平 松下航(国際医療福祉大学)
概 要(薫英研究費・無)					
本研究の目的は、高齢者介護施設における事故と介護職員のストレスおよび労働環境との関連を明らかにし、事故防止にむけた個人・組織管理の観点から対策を提案することである。過去2年間のインシデント・アクシデントレポートを分析し、その要因を網羅的に探索する。そして、介護場面を想定したリスク認知検査(時間制約のある危険予測検査)と同時に唾液アミラーゼによる即時ストレス測定を実施し、加えて持続的ストレスを含む健康状態や職場内の人人体制などの環境や信頼感に関する質問紙調査から、危険予測に関連する即時・持続的ストレス、職場環境等の要因を分析する。					

2021年

9. 学会発表

- ・岩本凌, 木下亮平, 長神忠洋, 岩崎修輔. 末期腎不全患者の楽しみである食事の継続を目指した終末期リハビリテーションの取り組み. 第18回日本訪問リハビリテーション協会学術大会. 高知. 2021年5月.
- ・岩本凌, 木下亮平. COVID-19により家族と面会が制限された認知症高齢者の通話を利用した家族との時間設定. 第22回日本認知症ケア学会. WEB学会. 2021年6月.
- ・木下亮平, 石附智奈美, 宮口英樹. 75歳以上のサロン参加者を対象とした「日本版加齢に伴う適応尺度(ATAS-J)」の基準関連妥当性の検討. 第33回日本老年医学会中国地方会. 広島. 2021年11月.

12. 公的活動

- ・一般社団法人日本作業療法士協会学術部委員
- ・一般社団法人日本作業療法士協会研究倫理予備審査部会委員
- ・第41回近畿作業療法学会演題査読委員